

市長あいさつ

明石市長

岡田進裕



平成7年(1995)1月17日午前5時46分に突如として起こった兵庫県南部地震は、先人たちや私たちが営々と築き上げてきた「ふるさと明石」を破壊し、26人の貴い市民の命を奪いました。

未曾有の大災害は、私たちに厳しい試練をもたらしました。しかしながら、被災にくじけることなく、市民みんなが力を合わせ、立ち上がろうと懸命に生きる姿は、今なお鮮明なまま記憶に残り、生涯忘れることはありません。

地震直後からの復旧事業、そしてその教訓を後世に伝える「災害に強いまちづくり」に向けた諸施策で、明石市は力強い復興を成し遂げました。

復興までの5年間、市民一人ひとりの復興への取り組み、そして多くのボランティアをはじめ、全国からいただきましたご支援に、改めて心より感謝申し上げます。

本誌では、震災から立ち直り、さらに躍進する明石市の様子を振り返っています。震災復興にご尽力をいただいたみなさまに、ご高覧いただければ幸いです。



避難所で市民を激励する岡田市長